

幼稚園入園説明会 2021 年度第 3 回 (08SEP21)

おはようございます。

新型コロナウイルス禍が中々収まらない中、不安定な社会状況が続いていますが、皆様には、本日は、日出学園幼稚園 2021 年度第 3 回入園説明会にご参加いただき、誠にありがとうございます。

私は、ただ今ご案内のありました、本学園理事長・学園長を務めております青木です。どうぞ、宜しくお願ひします。

最初に、私より、幼稚園を中心に本学園全体の沿革、現状、運営基本方針等につき話をさせていただき、その後、園長の鍛冶より、幼稚園の保育方針、及び日常活動等につき、説明致します。

本学園は、学校法人日出学園傘下に、幼稚園、小学校、中学校、高等学校を運営しており、各園・校に責任者である園長、あるいは校長がおります。従って、本幼稚園は日出幼稚園ではなく、日出学園幼稚園です。

ご案内の通り、私立学校の多くは、創設者の個人的理念発揚、あるいは宗教的背景等を持って設立・運営されていますが、本学園は、菅野地区に在住していた 2 代目町会長で初代理事長の青木要吉、当時既に開校していた隣接平田学園国府台女子学院創設者で当学園初代学園長を兼務した「平田華蔵」等の当地区有志が相談・協力し、開発が進む当地区に寺子屋のような家族的で個性を尊重したきめ細やかな教育の場提供を目指して幼稚園、及び小学校を今から 87 年前の 1934 年 4 月に開校した、独特の背景を持つ学園です。そして、校名も、開校前年の 1933 年 12 月に現上皇が誕生されたことから、明るい未来創造に向け「日出学園」と命名されたと聞いています。尚、同年 11 月には、市川・八幡等の近隣町村が合併して市川市が誕生しています。

本学園創立の中心となった青木 要吉は、当時実業家でしたが、同志社大学の前身「同志社」の 2 期生として創立者新島譲等の薫陶を受けた後、明治 25 年（1892 年）に米国エール大学、コロンビア大学等に留学し、帰国後は仙台、郷里岡山等で英語の教員、学校長等を務めた元来教育者でした。

本学園は、第 2 次世界大戦後の学校制度改革等を経て、1947 年に中学校、1950 年に高等学校を各々開設したので、現在は、幼稚園から高等学校までの一貫教育を目指す総合学園として、約 160 名の教職員がお預かりしている 1,600 名強（本年 5 月現在 1,609 名）の園児・児童・生徒の教育・指導に日々あたっています。

本学園の建学の精神は、「日本精神涵養の道場として、旺盛なる身心の発達と精確にして強き実践力の要請に向かつて、日本特有の塾教育を行うこと」です。創立に携わった人達の想い、及びその建学の精神に基づき、本学園は、「少人数制で家族的な校風の下、厳しいが愛情溢れる肌理細かな教育・指導を追求すると共に、学力向上は元より、強靱な体力・精神力の養成、及び身につけた知識等を的確に活用できる実践的思考力を備えた生徒の育成」を目指しています。即ち、企業、及び最近の入試改革で大学が求めている子供たちの思考力、判断力、表現力等の醸成に、本学園は開校以来取組んでいます。

また、指導にあたっては、建学の精神に基づく校訓「誠明和、即ち、なおく、明るく、睦まじく」の精神を實踐出来る、心身ともに健全で社会規範遵守を身に着けた園児等の育成に、ご家庭との緊密な連携を通じて力を入れています。

尚、本学園では、開校以来、全学において弁当持参をお願ひし、幼稚園・小学校・中学校では、教員と子供たちが教室で昼食を共にします。

そして、幼稚園では、昼食時にお箸の正しい使い方の習得指導も行っています。また、通園バスを導入せず、幼稚園児には保護者同伴の通園をお願いしています。これらが、保護者の皆様の負担を増やしていることは学園として十分に承知していますが、通園時の親子の会話等を通じ、感情形成期の園児が親の愛情を一身に受けて健やかに成長してくれること、そして、弁当持参により、親子の繋がりが深まると共に、子供達の親に対する感謝の念が醸成されることを願う本学園の運営基本理念に基づくものであることを、ご理解いただくようお願い致します。但し、近年は、社会環境の変化に基づく保護者の要望を勘案すると共に、同じ昼食を食べる経験を園児に身に付けてもらうべく、幼稚園では「ワクドキ・らんち」と称する給食会社手配の食事を、週2回、園児の皆さんに食べていただいておりますが、基本は、お弁当持参です。そして、子供たちにとっては、幼稚園で手配するランチよりも、家庭の手作り弁当の方が人気も高いようです。また、小学校・中学校・高等学校においては、校内に購買部を設置し、昼食弁当などの販売を3年前から導入しました。

尚、本学園は、毎年、全保護者・教員、小学校高学年及び中学・高校生等の協力を得て学校満足度アンケート調査を行い、その結果を学園運営に反映させており、この「ワクドキ・らんち」、あるいは、幼稚園における放課後の各種課外プログラム導入、並びに預かり保育充実等は、アンケート調査に基づく保護者の要望を反映したものです。

さて、本幼稚園の保育の特徴は、「遊びを通じて自ら考え、そして学ぶ力を養う自由保育」です。この目的を具現化するため、園児が思う存分走り回って体を鍛えることが出来ると共に、遊びを通じて学び、かつ伸び伸びと育つことができる砂地の広い園庭と平屋木造建て園舎を備えています。

この広い砂地の園庭を維持するため、外環道路建設に伴い本幼稚園が京成菅野駅北側からの移転を余儀なくされた折も、小中高等学校とは飛び地となりますが、現在地に、従前と同規模の1,400坪の園庭を確保して幼稚園を建設しました。尚、外環道路は、2年前の6月に完成しましたが、その後、幼稚園周辺地上部分も徐々に整備され、来年度には、京成菅野駅のバリアフリー化を含め、完全整備される予定です。

本幼稚園は、特徴である自由保育に加え、建学の精神に基づき社会生活の基本である挨拶の励行、学園規則及び社会規範の遵守、並びに友達との良好な交友関係構築と協調性習得等にも力を入れています。

また、近年は、小学校へのスムーズな進学に備え、保護者の要望も勘案して年長園児を中心に「読み書き、数量、英語等の教育の充実」、**Native Speaker**による「英語あそび」、小学校へ出向いての理科実験体験、小学生との異学年交流等、一貫校ならではの全学連携・交流教育も行っています。

更に、新型コロナ禍により昨年・今年中止のやむなきに至りましたが、年長園児を対象に親から離れて学園の軽井沢山荘で1泊する「山の幼稚園」も、本幼稚園の特徴あるプログラムの1つです。

尚、新型コロナ禍による緊急事態宣言を受け、現在も分散・自由登園、短縮授業等の実施を余儀なくされていますが、昨年前半の臨時休業時には、全学で双方向動画配信技術を活用した在宅授業を実施し、幼稚園は、家庭学習・保育支援だけではなく、動画配信による教員と子供達との触れ合いの場を設けました。

本学園は、従来の徳育重視に加え、近年、生徒の学力向上、特に高校生の難関・名門大学進学実績向上に力を入れています。このような自由保育、及び幼稚園から高等学校までの一貫教育を通じて伸び伸びと成長した生徒の中から、近年、世界的に有名なコンテストで優勝したバイオリニスト、幼児期から踊りのバレエを続けながら学力も優秀で、元慶応大学塾長小泉 信三を記念した歴史ある小論文コンテストの最優秀賞受賞者、また、昨年は、東京大学理科 2 類に現役合格した卒園生等も輩出しています。

尚、今年の NHK 大河ドラマ「晴天を衝け」のテーマ曲の作曲者佐藤 直紀は、本学園中学・高等学校から東京芸術大学に進学した本学園卒業生です。

本学園は、幼稚園から高等学校までの一貫教育を通じて建学の精神を習得・実践できる生徒の育成を目指していますが、開校後長年に亘り幼稚園及び小学校だけであったこともあってか、幼稚園卒園児の約 4 分の 1、また小学校卒業児童の約 6 割が、公立校を含む外部小学校、中学校等に進学しています。

このような中、上位校への進学時、即ち、幼稚園から小学校、小学校から中学校、中学校から高等学校進学時に内部進学を希望する園児・生徒等は、基本的に進学出来る一貫教育制度を導入する一方、自ら選んだ道を追求するため、例えば、幼稚園卒園時に外部小学校を目指すことは、保護者等の選択に任せています。

但し、外部私立小学校等への進学に挑戦する園児が日出学園小学校に併願受験する場合は、他の外部受験者と同等の扱いとさせていただいているため、併願受験の結果、本学園幼稚園卒園生でも小学校入学がかなわないケースがあることは予めご了解下さい。尚、本学園小学校の入学定員は 102 名で、内 80 名強は幼稚園からの内部進学生、及び単願、即ち、日出学園小学校が第 1 志望の合格者です。従って、併願受験者の合格枠は約 20 名です。

因みに、昨年度の日出学園小学校の入試倍率は 2 倍で、内進生を除くと約 2.5 倍でした。

最後にあたり、本日の説明会にご参加いただいた皆様に、改めて御礼を申し上げますと共に、来年 4 月の入園式で、皆様のお子様にお目にかかれることを楽しみにしている旨申上げて、私の挨拶とさせていただきます。

以 上